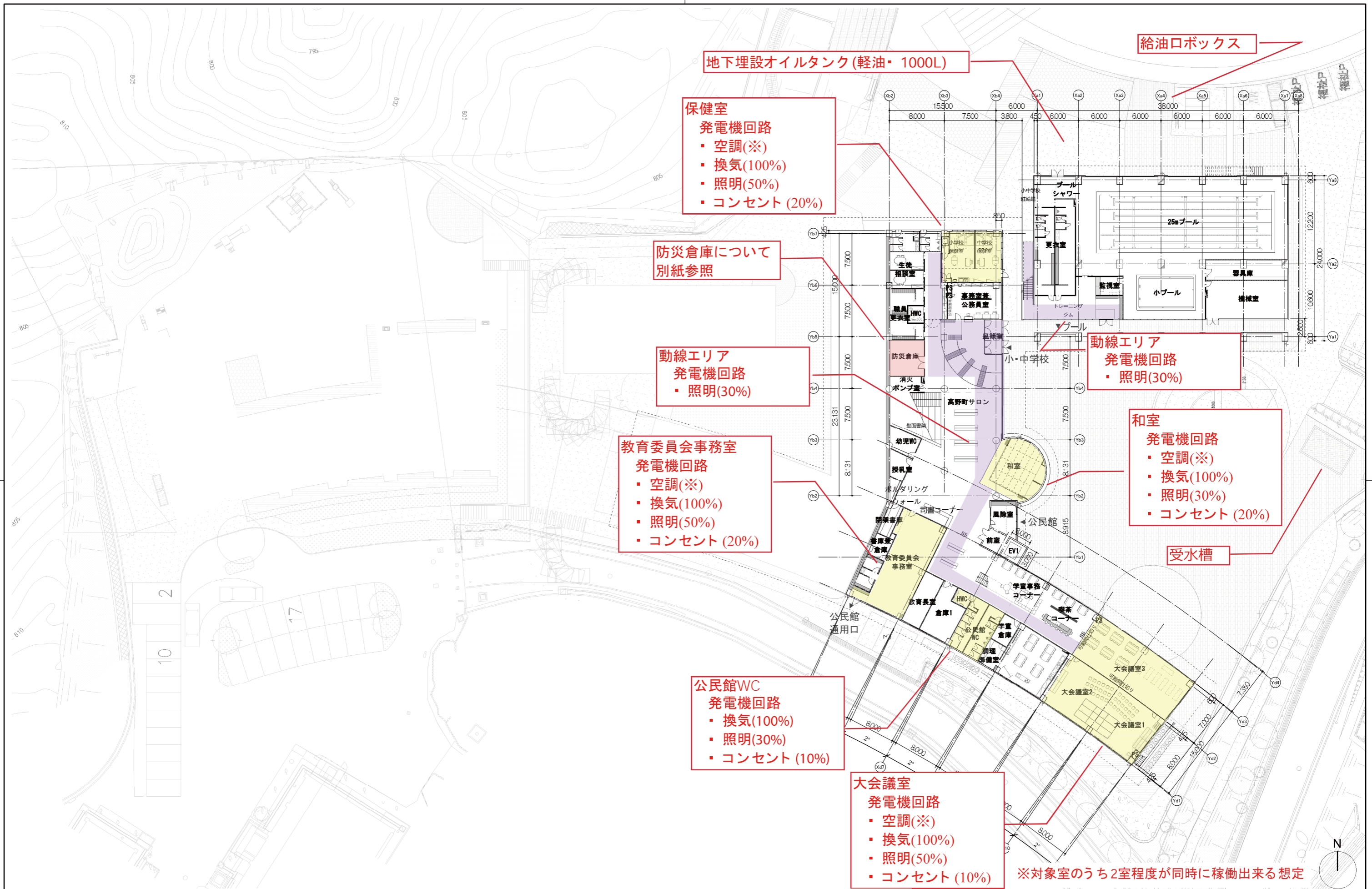


S18
BCP資料

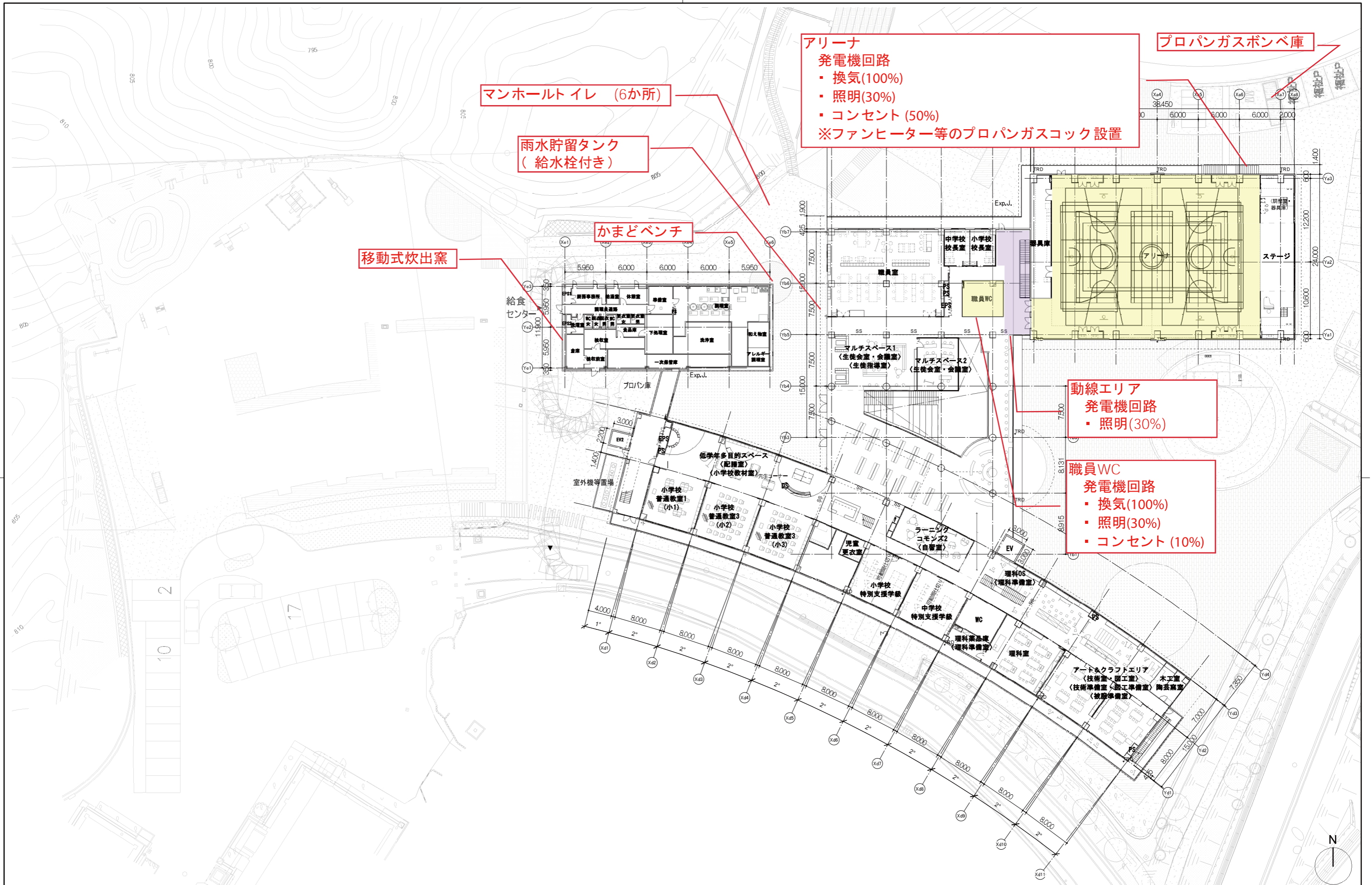


<代表設計者>
 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
 森 雅章

高野町学びの交流拠点整備事業
 (高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外部倉庫新築工事)

S	その他	履歴書
18-1	BCP資料	見積書
		請負契約書

安井建築設計事務所



アリーナ
 発電機回路
 ・換気(100%)
 ・照明(30%)
 ・コンセント(50%)
 ※ファンヒーター等のプロパンガスコック設置

プロパンガスボンベ庫

マンホールトイレ (6か所)

雨水貯留タンク
 (給水栓付き)

かまどベンチ

移動式炊出窯

動線エリア
 発電機回路
 ・照明(30%)

職員WC
 発電機回路
 ・換気(100%)
 ・照明(30%)
 ・コンセント(10%)

<代表設計者>
 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
 森 雅章

高野町学びの交流拠点整備事業 (高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外郎倉庫新築工事)	
S	その他
18-2	BCP 資料
安井建築設計事務所	



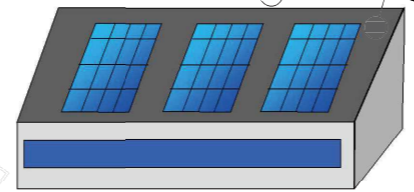
燃料小出槽 参考画像



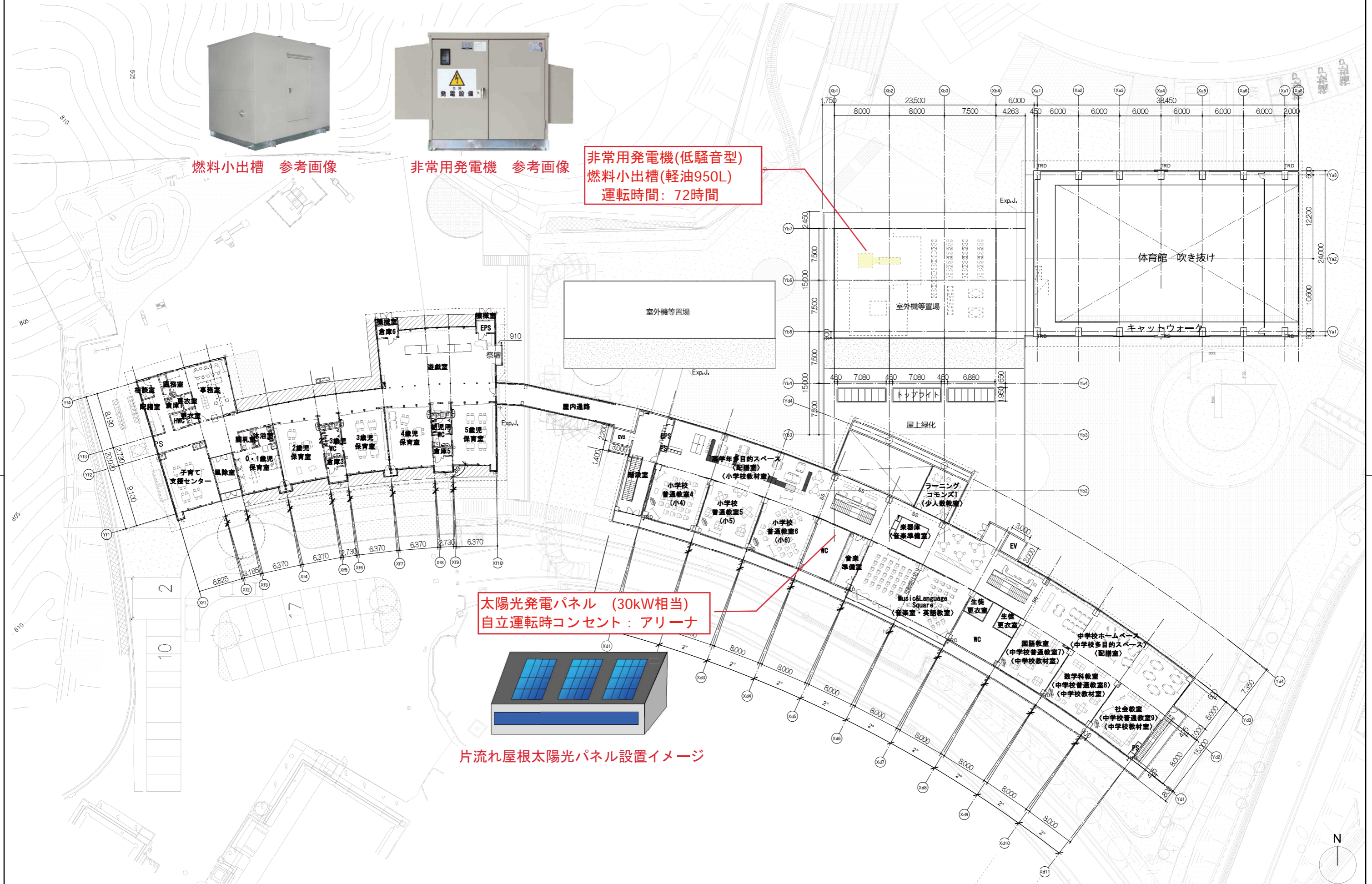
非常用発電機 参考画像

非常用発電機(低騒音型)
燃料小出槽(軽油950L)
運転時間: 72時間

太陽光発電パネル (30kW相当)
自立運転時コンセント: アリーナ



片流れ屋根太陽光パネル設置イメージ



<代表設計者>
一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

高野町学びの交流拠点整備事業
(高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外館倉庫新築工事)

S	その他	履歴版
18-3	BCP 資料	原稿版
	安井建築設計事務所	最終 改訂版

防災倉庫の必要面積について

■防災倉庫の規模の推定方法

・滞在者数から各品目の必要数量を想定し、積荷高さ(例: 1,457mm※以下)を仮定し、保管に必要な面積を推定する。

※陸上貨物運送事業や卸・小売業などで広く使用されている「ロールボックスパレット(カゴ台車)」の一般的な内寸高さ1,457mmを想定。(高所作業用の脚立などが不要な高さ)

①避難推定人数 104人

②滞在日数 自然災害等発生から3日間(要求水準書記載の自家発電設備72時間を基準に算定)

③備蓄物資の品目 飲料水 + 手洗用水 + 被災者の命と生活環境に不可欠な必需品8品目※ + 段ボールベッド + 簡易間仕切り

※「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(中央防災会議)」より



▲平積み



▲ロールボックスパレット

品目	避難者数	1人あたり必要量				総必要量					1梱包あたり				必要面積の計算			
		想定	1日あたり	3日あたり	1日あたり	計算比率	3日あたり	数量	底面 (cm)	高さ (cm)	重量 (kg)	必要箱数 (箱)	積み上げ可能段数(段)	1段あたりの箱数(箱)	必要面積 (m ²)			
飲料水	104	3 L	9 L	312 L	1.0	936 L	12 L	39.4 × 26.8	20.6	13.3	78	7	12	1.27				
手洗用水	104	1 L	3 L	104 L	1.0	312 L	12 L	39.4 × 26.8	20.6	13.3	26	7	4	0.42				
食料	104	3 食	9 食	312 食	1.0	936 食	60 食	42.0 × 30.0	22.0	7.5	16	6	3	0.38				
毛布	104	2 枚	2 枚	208 枚	1.0	208 枚	10 枚	55.0 × 75.0	30.0	17.0	21	4	6	2.48				
乳児用粉ミルク※	104	140 g	420 g	146 g	0.01	437 g	6,480 g	28.3 × 55.5	18.7	8.9	1	7	1	0.16				
乳児・小児用おむつ※	104	8 枚	24 枚	17 枚	0.02	50 枚	168 枚	40.5 × 26.5	39.4	5.7	1	3	1	0.11				
大人用おむつ※	104	8 枚	24 枚	4 枚	0.005	12 枚	88 枚	45.3 × 36.3	38.3	5.4	1	3	1	0.16				
携帯トイレ	104	5 回	15 回	520 回	1.0	1,560 回	200 回	36.0 × 57.0	46.0	13.0	8	3	3	0.62				
トイレットペーパー	104	0.18 巻	0.54 巻	19 巻	1.0	56 巻	96 巻	84.0 × 42.0	35.0	13.0	1	4	1	0.35				
生理用品※	104	1.07 枚	3.21 枚	17 枚	0.2	50 枚	144 枚	47.8 × 27.0	34.0	2.8	1	4	1	0.13				
段ボールベッド	104	1 個	1 個	104 個	1.0	104 個	1 個	114.0 × 95.0	16.0	10.0	104	9	12	13.00				
簡易間仕切り	104	1 個	1 個	104 個	1.0	104 個	1 部屋	18.5 × 105.0	10.5	4.8	104	13	8	1.55				
必要面積 合計														20.6				

【表の説明】

- ① 「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(中央防災会議)」に掲げられる8品目+飲料水+段ボールベッド+簡易間仕切り
- ② 「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(中央防災会議)」に記載のある備蓄物資必要量の算出式を使用
- ③ 避難者104人への配布を想定し、※の品目は必要者のみへの配布を想定
- ④ 一般に流通しているメーカーの規格を参考値として使用
- ⑤ 全滞在者3日必要量(③) ÷ 1梱包あたりの数量(④)の切り下げ値
- ⑥ 積荷高さの上限を1.457mとして算出



▲段ボールベッド(2,000×9,00)



▲簡易間仕切り(約2,100×2,100×高さ1,800)

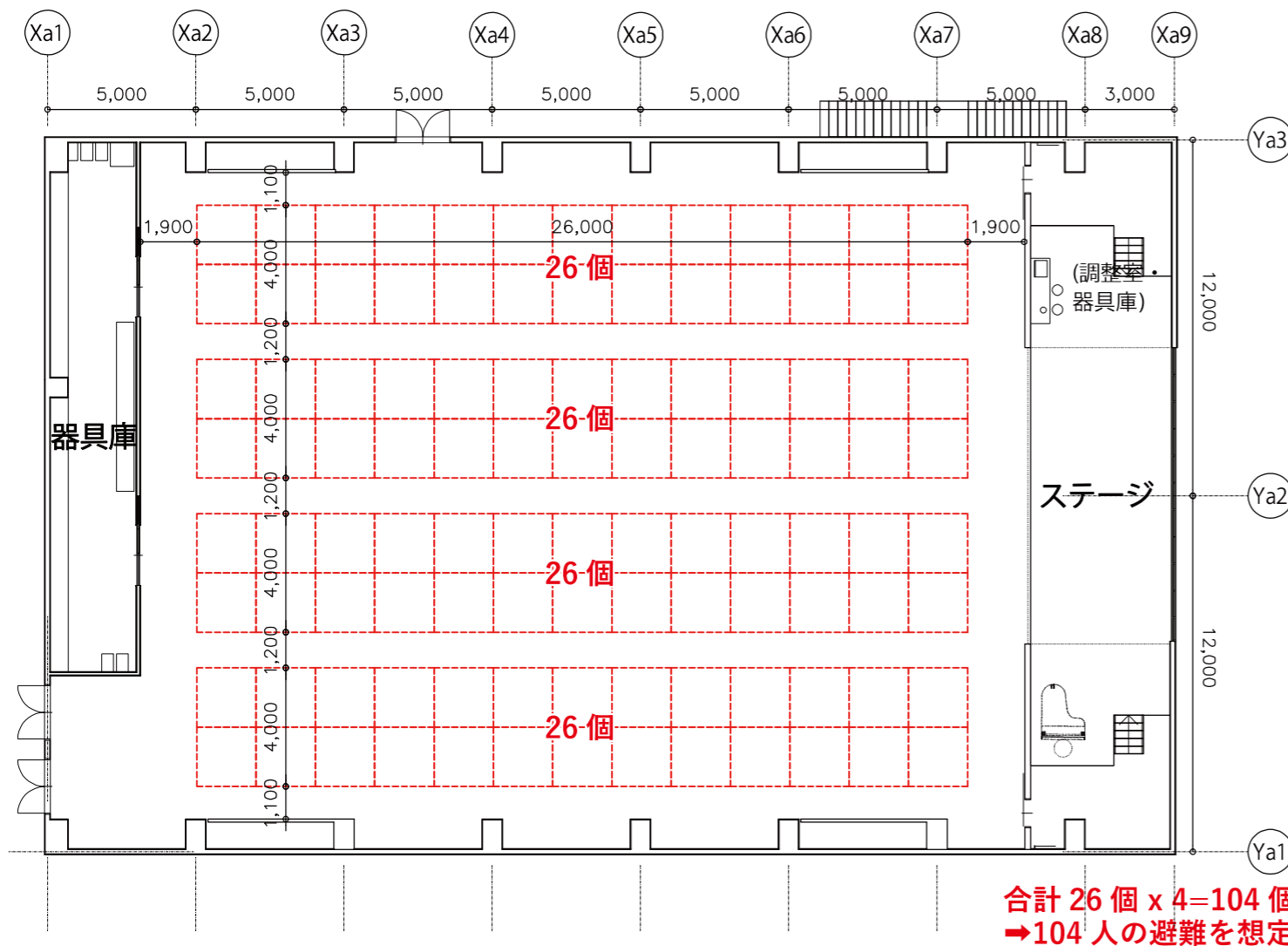


<代表設計者>
一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

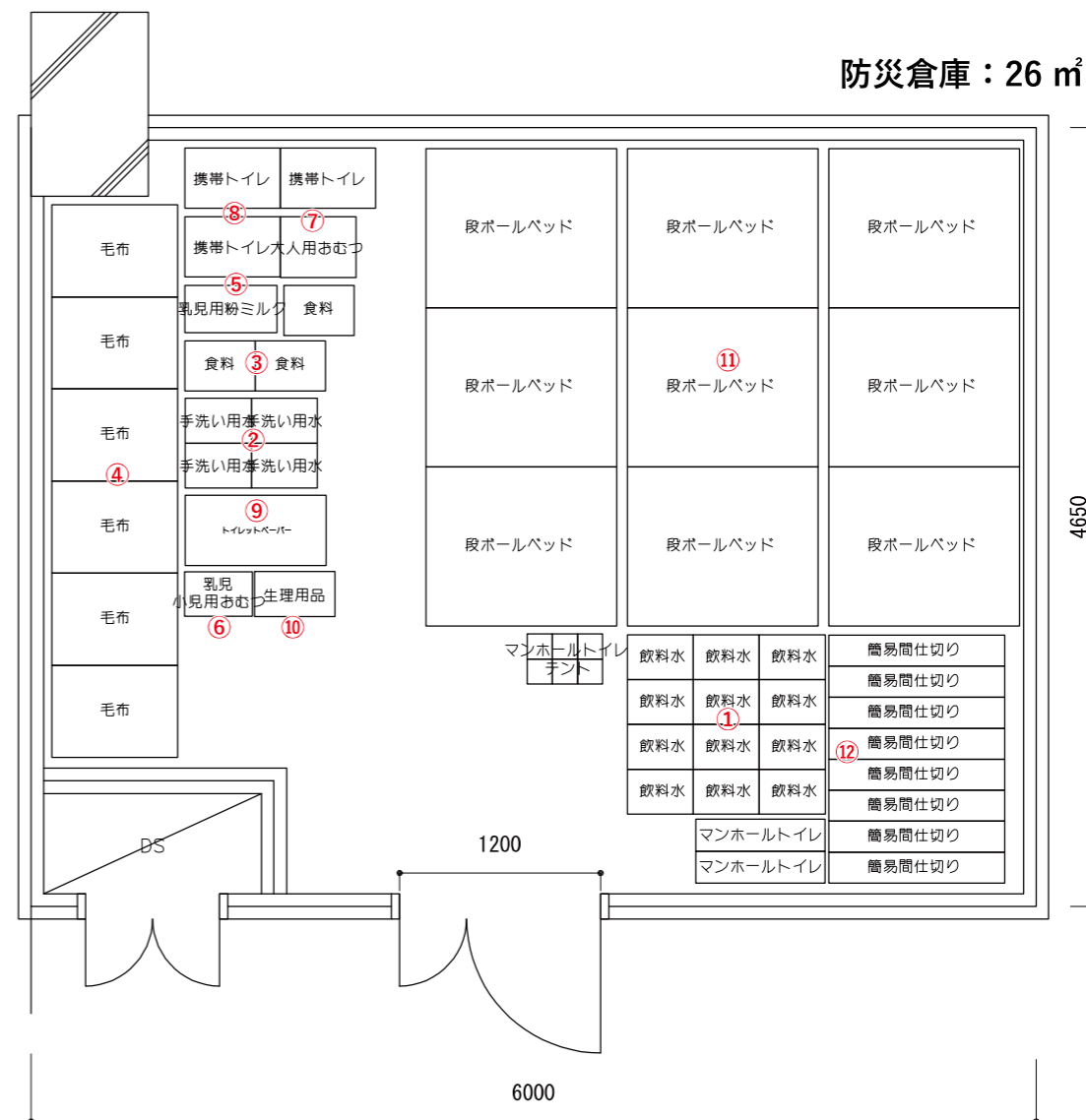
高野町学びの交流拠点整備事業 (高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外郎倉庫新築工事)	
S	その他
18-4	BCP 資料
安井建築設計事務所	

避難想定人数

■2m x 2m の段ボール仮設ユニットを敷設した場合の数の検討



防災倉庫の計画

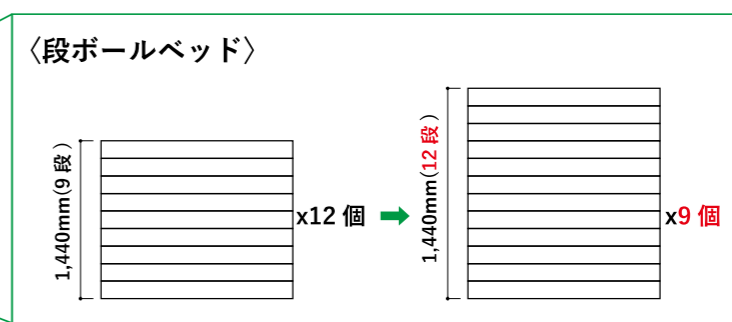


防災倉庫必要面積

積み上げ高さ:145.7cm

アリーナ面積:720㎡ 避難者一人あたりの面積:6.5㎡

品目	避難者数 想定	1人あたり必要量		総必要量			1梱包あたり			必要面積の計算				
		1日あたり	3日あたり	1日あたり	計算比率	3日あたり	数量	底面 (cm)	高さ (cm)	重量 (kg)	必要箱数 (箱)	積み上げ 可能段数(段)	1段あたりの 箱数(箱)	必要面積 (㎡)
① 飲料水	104	3 L	9 L	312 L	1.0	936 L	12 L	39.4 × 26.8	20.6	13.3	78	7	12	1.27
② 手洗用水	104	1 L	3 L	104 L	1.0	312 L	12 L	39.4 × 26.8	20.6	13.3	26	7	4	0.42
③ 食料	104	3 食	9 食	312 食	1.0	936 食	60 食	42.0 × 30.0	22.0	7.5	16	6	3	0.38
④ 毛布	104	2 枚	2 枚	208 枚	1.0	208 枚	10 枚	55.0 × 75.0	30.0	17.0	21	4	6	2.48
⑤ 乳児用粉ミルク*	104	140 g	420 g	146 g	0.01	437 g	6,480 g	28.3 × 55.5	18.7	8.9	1	7	1	0.16
⑥ 乳児・小児用おむつ*	104	8 枚	24 枚	17 枚	0.02	50 枚	168 枚	40.5 × 26.5	39.4	5.7	1	3	1	0.11
⑦ 大人用おむつ*	104	8 枚	24 枚	4 枚	0.005	12 枚	88 枚	45.3 × 36.3	38.3	5.4	1	3	1	0.16
⑧ 携帯トイレ	104	5 回	15 回	520 回	1.0	1,560 回	200 回	36.0 × 57.0	46.0	13.0	8	3	3	0.62
⑨ トイレットペーパー	104	0.18 巻	0.54 巻	19 巻	1.0	56 巻	96 巻	84.0 × 42.0	35.0	13.0	1	4	1	0.35
⑩ 生理用品*	104	1.07 枚	3.21 枚	17 枚	0.2	50 枚	144 枚	47.8 × 27.0	34.0	2.8	1	4	1	0.13
⑪ 段ボールベッド	104	1 個	1 個	104 個	1.0	104 個	1 個	114.0 × 95.0	16.0	10.0	104	9	12 → 9	13.00
⑫ 簡易間仕切り	104	1 個	1 個	104 個	1.0	104 個	1 部屋	18.5 × 105.0	10.5	4.8	104	13	8	1.55
必要面積 合計													20.6	



<代表設計者>
一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

高野町学びの交流拠点整備事業 (高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外郎倉庫新築工事)	
S	その他
18-5	BCP 資料
安井建築設計事務所	

(3) 基本8品目の必要量

- ① 発災から3日間は家庭等の備蓄と被災地方公共団体における備蓄で対応することを想定し、国が行うプッシュ型支援は遅くとも発災後3日目までに、必要となる物資が被災府県に届くよう調整する。
- ② プッシュ型支援の必要量は、発災後4日目から7日目までに必要となる量を見込む。具体的には、被害想定において検討された1週間の避難所避難者等の状況（被災府県ごとの最大値）を踏まえ、次頁の算出式により、別表5-1のとおり計画する。また、発災直後に推計されるDIS被害推計結果に基づき避難者数、避難所避難者数及び上水道支障率の推計量を補正し、必要量を修正する。
- ③ 食料については、調理不要の食品を中心に、事態の進展に応じて調理を必要とする食品も含めて調達・供給する。食料の調達・供給は、消費期限等を考慮し、原則として1日ごとの必要量をもって行う。
- ④ 毛布については、消防庁は、地方公共団体の公的備蓄から必要量を確保・供給できるよう調整する。
- ⑤ 携帯トイレ・簡易トイレについては、経済産業省による調達に加え、消防庁は、地方公共団体の公的備蓄から最大限の確保を行う。

<調達するトイレの種類>

名称	仕様	既設トイレの ブース活用可否	梱包サイズ 重量
携帯トイレ	既設トイレの便座等に便袋を設置し、使用後はし尿をバックし、処分するタイプ。 電源と汲み取りを必要としない。	活用可能	※参考例（1ケース200回分） 縦360×横570×高さ460mm 約13.0kg
簡易トイレ	室内に設置可能な小型で持ち運びができるトイレ。し尿を貯留又は凝固するタイプ。ただし、貯留するタイプは別途処理が必要。介護用のポータブルトイレも含む。電源を必要とするタイプもある。汲み取りを必要としない。	設置スペースを確保できれば活用可能。既設のトイレブース以外で使用する場合は、別途、囲いを確保するものとする。	※参考例（1ケース1台分） 縦390×横385×高さ145mm 約2.6kg

<8品目の必要量の算出式>

項目	前提とする被害量	算出式
食料	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数 ¹ +避難所外避難者数 ²)×一人1日当たり必要量3食
毛布	避難所避難者数	避難所避難者数×一人当たり必要枚数2枚 -被災地方公共団体備蓄量
乳児用粉ミルク又は 乳児用液体ミルク	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数+避難所外避難者数)×0歳人口比率 ³ ×一人1日当たり必要量※×4日間 ※乳児用粉ミルクは140g、乳児用液体ミルクは1リットル
乳児・小児用 おむつ	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数+避難所外避難者数)×0~2歳人口比率 ³ ×一人1日当たり必要量8枚×4日間
大人用おむつ	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数+避難所外避難者数)×必要割合0.005 ⁴ ×一人1日当たり必要量8枚×4日間
携帯トイレ・ 簡易トイレ	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数+避難所外避難者数)×上水道支障率 ⁵ ×一人1日当たり使用回数5回×4日間
トイレット ペーパー	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数+避難所外避難者数)×一人1日当たり必要量 0.18巻 ⁶ ×4日間
生理用品	避難所避難者数 避難所外避難者数	(避難所避難者数+避難所外避難者数)×12~51歳女性人口比率 ⁷ ×一人1期間(7日間)当たり必要量30枚×1/7 ⁷ ×1/4 ⁸ ×4日間

4. プル型支援による物資支援

- (1) 被災都府県は、自らの物資調達やプッシュ型支援による物資を勘案してもさらに供給すべき物資が不足し、調達の必要がある場合には、緊急災害対策本部を通じて発注・要請元、要請品目、数量、納入・搬入先その他必要な事項を明示し、物資関係省庁に調達を要請する。
 - (2) 物資関係省庁は、上記(1)の要請に対応し、それぞれ担当する調整先と調整し、要請物資の調達・供給を行う。
- ① 消防庁は、要請に応じて飲料水（ペットボトル）、食料、乳児用粉ミルク又は乳児用液体ミルク、乳児・小児用おむつ、大人用おむつ、携帯トイレ・簡易トイレ、その他

¹ 避難所避難者数は、自宅建物が全壊、半壊又は一部損壊したため避難所に避難した者、断水により自宅で生活し続けることが困難となり避難所に避難した者の合計
² 避難所外避難者数は、避難所以外の場所に避難したが、避難所において物資の提供が必要者の合計
³ 「0歳人口比率」、「0~2歳人口比率」及び「12~51歳女性人口比率」は、国勢調査（総務省統計局）における数値
⁴ 大人用おむつの算出式における「0.005」という係数は、避難所避難者及び避難所外避難者における要介護の高齢者を想定したものである
⁵ 携帯トイレ・簡易トイレの算出式における「上水道支障率」は、都府県ごとの断水人口の割合（断水率）
⁶ トイレットペーパーの算出式における「0.18」という係数は、経済産業省生産動態統計年報による販売量及び総務省人口推計により試算
⁷ 生理用品の算出式における「1/7」という係数は、生理期間における1日当たりの必要量を求めたもの
⁸ 生理用品の算出式における「1/4」という係数は、生理期間を4週に1回と想定したものである

の生活必需品について地方公共団体の公的備蓄から確保できるよう地方公共団体と調整を行う。

- ② 農林水産省は、要請を受けて食料、飲料水（ペットボトル）、乳児用粉ミルク又は乳児用液体ミルク等の適切な調達ができるよう関係業界団体、関係事業者と調整を行う。
 - ③ 経済産業省は、要請を受けて携帯トイレ・簡易トイレ、トイレットペーパーのほか、作業用具類、ティッシュペーパーなどの生活用品類、洗剤、歯ブラシなどの洗面用具類、カセットコンロ、カートリッジポンプなどの食器・調理用具類の生活必需品の適切な調達がされるよう関係業界団体、関係事業者と調整を行う。
 - ④ 厚生労働省は、要請を受けて、乳児・小児用おむつ、大人用おむつ、生理用品のほか、衛生用品の適切な調達がされるよう関係業界団体、関係事業者と調整を行う。
- (3) 国及び被災地方公共団体は、物資の備蓄状況、支援要請や調達・輸送調整について、防災関係機関における情報共有を図るため物資システムを活用するものとする。ただし、被災により本システムが使用できない場合は、電子メール又はファクシミリ等の代替手段により対応する。

5. 飲料水の調達

- (1) 飲料水については、被災水道事業者及び応援水道事業者が給水車両や緊急貯水槽、仮設給水栓等を用いて実施する応急給水により対応する。
- (2) 実施手順
 - ① 厚生労働省は、被災状況から判断して必要と認める場合又は被災府県からの要請があった場合には、都道府県及び関係団体を通じて全国の水道事業者（市町村等）に対して応急給水の実施に係る支援を要請し、調整等を行う。
 - ② 別表5-2に示す必要量を調達するため、被災地の水道事業者は、応急給水を発災後速やかに実施する。具体的には、域外からの応援（給水車等）も活用し、域内の浄水場、配水池、貯水槽等から各避難所への給水を行うとともに、仮設給水栓を開設する。なお、発災から3日間は家庭等の備蓄と被災地方公共団体における備蓄を含めて対応することを想定する。
 - ③ 被災水道事業者及び応援水道事業者が自ら輸送手段を確保できない場合には、被災地方公共団体が緊急災害対策本部又は現地対策本部に対して輸送手段の確保を要請する。
- (3) 飲料水の必要量
 - ① 被害想定において検討された1週間の断水状況（被災府県ごとの最大値）を踏まえ、次頁の算出式により、別表5-2のとおり計画する。

<飲料水の必要量の算出式>

項目	前提とする被害量	算出式
飲料水	要給水者数 (断水人口)	要給水者数(断水人口)×一人1日当たり必要量3リットル

		高野町学びの交流拠点整備事業 (高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外部倉庫新築工事)	
		S	その他
		18-6	BCP 資料
		安井建築設計事務所	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章		情	

災害用マンホールトイレ洋式タイプ

かんたんに組み立て、汚水マンホールの上に設置し、直接汚物を流す洋式タイプのマンホールトイレです。ご高齢の方などにも使いやすい、立ち座りをサポートする手すり・背もたれ付き。



体格の大きな方、厚手の洋服を着ている方にも、余裕をもって座れるワイドタイプ。設置するマンホール内径に合わせてお選びください。

ワイドタイプ大型
VE100W
¥56,000
(税込価格 ¥61,600)

ワイドタイプ
VE100M
¥52,000
(税込価格 ¥57,200)

スリムサイズのエコノミータイプ
VE100
¥41,000
(税込価格 ¥45,100)



避難所・防災公園などの備蓄には、マンホール



主な特徴



コンパクト収納
本体は折りたたみ式でコンパクトに収納・梱包されています。

●安心の手すり・背もたれ付き
●足元段差なしのバリアフリー
●簡易トイレ使用可

汚物処理用ネット
マンホールが使用できない場合、スリートを付属用ネット・付け替え、汚物処理袋(トイレ袋)をセットすると、簡易トイレとして使用できます。

便座の高さ4段階調節
1番下を除く、上3段階の穴を利用して4.5cmずつ高さ調節ができます。便座を高めに設定し立ち座りしやすくするなどの使い方もできます。



組立手順 約3分

1 本体フレームを開きます。
2 便座を本体フレームへセットします。
3 本体フレームを床プレートに差し込みます。
4 両側フレームにスリートを取り付けます。
5 マンホールの上に本体を置き、固定します。
6 設置完了です。

オプション



土などの柔らかい地面に設置する場合は必ずお持ちください。
ペグハンマーセット [VE100PG]
¥1,200 (税込価格 ¥1,320)
【セット内容】ペグ4本、ハンマー1本

収納箱サイズ

型番	重量	幅	奥行	高さ
VE100W	15kg	77cm	10cm	68cm
VE100M	11.8kg	77cm	10cm	68cm
VE100	9kg	77cm	10cm	64cm

パーソナルテント

多目的に利用できるパーソナルテントです。用途に合わせて選べるS・M・Lの3サイズ。



簡易トイレ用、更衣室用など用途は色々！屋内でも設置できる自立タイプです。

Sタイプ
PTAS
¥21,000
(税込価格 ¥23,100)

Mタイプ
PTAM
¥24,000
(税込価格 ¥26,400)

Lタイプ
PTAL
¥38,500
(税込価格 ¥42,350)



床面1.85m x 2.6mのゆったりサイズ！車いすトイレや救護室などに。

Lタイプ
PTAL
¥38,500
(税込価格 ¥42,350)

※屋外に設置する場合は、マンホール蓋の位置などで動かさないように、地面にペグを打ち込むか、重石などで必ず固定してください。

コンパクトなので、備蓄がしやすい！防災用以外の様々な用途にも！

- 簡易トイレ用
- 更衣室用
- レジャー、アウトドア用

■組合せ収納例
パーソナルテント PTAM + ポータブルトイレ VE30/V24L

主な特徴



使用中が一目でわかる「赤色の表示窓」
タグを表示窓に取り付け、「使用中」を知らせることができます。面ファスナーで操作するので片手でも付け外しできます。タグがテント内側に付いているので風などで外れる心配がありません。

ジッパーの持ち手が見えにくい安心構造
ジッパーを閉めた際、ストラップを内側に収納できるので、使用中に誤って開けられることを防ぎます。

小物やペーパーの保管も可能
付属のネットに付属のペーパーを4冊入れて、テント内に保管できます。メッシュの小物入れ、タオルなど乾物のものを掛けるハンガーロープが左右に各1箇所あります。

シリバーコーティングでシルト対策
●換気用メッシュ窓付き
●スチールパイプ製の頑丈な骨組

入り口をバリアフリー化
マンホールトイレなどとセットで使用する場合は、入り口の床パイプを奥にずらして取り付けることで、段差がなくなり、足元不安のある方や車いすの方がスムーズに進入できます。

入り口を全解放・半解放可能!
救護室として使用が必要な場合には全開放、車いすトイレ用に半開放など、用途や状況に合わせて開放できます。

※日本最大級重量車載可能なマンホールトイレに使用され、プライバシースペースの確保に配慮しました。

組立手順 PTAS/PTAM 約3分 (2人で) PTAL 約5分 (2人で)



1 屋根パイプをコネクタに差し込み、屋根部分を組み立てます。
2 柱パイプを広げて接続し、屋根部分のパイプに差し込みます。
3 右側のジッパーを開け、フレームをかぶせます。
4 右側のピンを柱パイプに差し込みます。
5 床パイプを取り付けます。
6 完成！

※組み立てている場合はPTAMです。

■収納箱サイズ PTAL

型番	重量	幅	奥行	高さ
PTAS	8kg	103cm	15cm	15cm
PTAM	7kg	92cm	18cm	15cm
PTAL	9.5kg	110cm	27cm	15cm

<代表設計者>
一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

高野町学びの交流拠点整備事業
(高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外部倉庫新築工事)

S その他
18-7 BCP 資料

安井建築設計事務所

■基本方針

- ・インフラの遮断を伴うような大規模な災害時においても、人命の安全確保に加え、避難施設として必要な機能を確保できる計画とする。
- ・災害発生時には体育館が指定避難所として機能する。
- ・体育館の避難時収容人員は 100 人とする。
(避難時収容人員として 2 m²/人 (400 人程度収容) であるが、感染症対策として必要離隔距離を考慮し 8 m²/人とする。床面積 800 m² ÷ 8m²/人=100 人)
- ・みんなの広場を中心に物資等の配給を行う。
- ・公民館の和室は高齢者、乳幼児等の避難者を隔離できるように計画する。

■災害に強い施設の構築

●耐震性能

・構造体の耐震安全性: II類

大地震後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるものとする。

・非構造部材の安全性: A類

大地震後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理の上で支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。

・設備の耐震安全性: 乙類

大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られるものとする。

●土砂対策

- ・和歌山土砂災害マップによると現給食センターおよび現テニスコート敷地内に土砂災害区域指定有り。

●水害対策

- ・ハザードマップから計画地は浸水エリアではない。

■インフラのバックアップ対策

【電気設備】

- ・受変電設備は新給食センター屋上に設置とし、高圧引込 1 回線受電とする。
- ・非常用発電機は燃料（軽油）を 72 時間分備蓄する。その後の運用（一週間程度）については、燃料の補給による運用継続とする。また、発電した電力は空調、換気、照明、コンセント等の一部に供給する。(対象範囲は限定)
- ・対象範囲の発電機回路照明は全灯数の 1/2~1/3 とする。また、設備機器（電話交換機、非常放送アンプ、インターホン親機等）においても発電機回路対応とする。
- ・太陽光発電設備を設置し、日中における商用電力停電時は自立運転出力系統の出力を利用することで通信機器・携帯電話等の充電用コンセント電源として活用する。

【上水設備】

- ・給水本管破断時のリスク回避として、受水槽を設置する。防災倉庫に避難時収容人員分の飲料ペットボトルを保管する。
- ・受水槽へはポンプ故障時の採水用として給水栓を設置する。
- ・受水槽廻りには、バイパス管を設置し、受水槽が破断してもバイパス管を利用して給水可能となるようにする。

【雑用水設備】

- ・プール用水を雑用水に転用し、マンホールトイレ等の洗浄に利用する。
- ・プール用水圧送は、水中ポンプ（備品）を設置し、簡易ホース等にて必要箇所へ圧送する。
- ・散水用の雨水貯留タンク（建築工事）に給水栓を設置し、容器等に移し替えて、人力にて必要箇所への洗浄水として利用する。

【排水設備】

- ・マンホールトイレを 6 か所設置する。

【冷暖房設備】

- ・アリーナへはガスファンヒーター用のプロパンガス配管及びガスコックを設置する。
- ・教育委員会事務室、和室、大会議室は、停電時にも空調を稼働とするが、発電機稼働時 40%程度とし、不足分はファンヒーター等（備品）で対応する。

【換気設備】

- ・教育委員会事務室、和室、大会議室、アリーナ、公民館 WC、職員 WC の換気は非常時においても稼働できる計画とする。

■インフラ停止時の事象別諸室のイメージ

凡例 ○：使用可能 ×：使用不可 -：該当設備無し

階	室名	照明	コンセント	冷暖房	換気	給水			給湯			排水	備考	
		商用電力 停電	商用電力 停電	商用電力 停電	商用電力 停電	商用電力 停電	断水	商用電力 停電 断水	商用電力 停電	断水	商用電力 停電 断水			
【高野山小・中学校】														
共通	動線エリア	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1階	保健室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1階	プール	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プール用水を雑用水へ
2階	アリーナ	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	暖房（ファンヒーター用ガスコック）
2階	職員WC（HWC含む）	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
屋外	みんなの広場	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	ソーラー街路灯
屋外	小中広場	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
屋外	駐車場	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
【高野町公民館】														
共通	動線エリア	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1階	大会議室	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
1階	教育委員会事務室	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
1階	公民館WC（HWC含む）	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1階	和室	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
【新給食センター】														
1階	倉庫	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	移動釜格納用

<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第 300703号 森 雅章	高野町学びの交流拠点整備事業 (高野山こども園・高野山小・中学校・高野町公民館・外部倉庫新築工事)
<設備設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第 195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	S 18-8 BCP 資料
安井建築設計事務所	監製 監修 印刷